

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 3 号)

1 平成2年9月17日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 脇田 安保	2 番 永井 龍平
3 番 田沢 勝信	4 番 庄司二三男
5 番 岩村 勝弘	6 番 山崎 雅己
7 番 生稲 陞	8 番 鈴木 勝美
9 番 山口 康雄	10 番 鈴木 忠夫
11 番 神田 守隆	12 番 榎本 春光
13 番 山中金治郎	14 番 小宮 利夫
15 番 横溝 功	16 番 石井 昌治
17 番 石井 謀	18 番 日下 君敏
19 番 川名 正二	20 番 福原 勤
21 番 辻田 実	22 番 黒川 平治
23 番 流山源次郎	25 番 渡辺 昭夫
26 番 近藤 好雄	27 番 林 豊
28 番 飯田 義男	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 半澤 良一	助 役 小幡 清之
収 入 役 渡辺 弘	市長公室長 錦織 茂
総 務 部 長 二通 英雄	民生部長 佐藤 澄雄
経 済 部 長 安西 良一	水道課長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 福原 修	

1 出席事務局職員

事 務 局 長 川上 義雄	事 務 局 長 補 佐 兵藤 恭一
書 記 鈴木 哲	書 記 鈴木 修一
書 記 加藤 浩一	

1 議事日程（第3号）

平成2年9月17日午前10時開議

日程第1 議案第37号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

日程第2 議案第38号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）

開 議 午前10時03分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数27名、これより第3回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、議案第37号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案第37号国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例についてお尋ねをいたします。

宿泊料金を7乃至10%ほど値上げしようとするものでありますけれども、昨年度の鳩山荘の経営状況は、決算の数字によりますと、消費税導入に伴う料金の値上げが半年据え置かれたにもかかわらず1,200万円余もの純利益を計上しております。鳩山荘の経営は極めて順調であり、その経営内容からは料金値上げの理由はないと思うが、いかがお考えでありましょうか。

次に、提案説明では県国民宿舎連絡協議会の協議結果に基づいての料金改定とのことではありますが、県内の国民宿舎の状況は赤字のところもあ

れば黒字のところもありということできまざまではないかと思います。県内の国民宿舎の料金の改定状況についてどのようになっていますか、御説明をいただきたいと思います。

◎議長（渡辺昭夫君） 市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 御質問にお答えをいたします。

議案第37号、鳩山荘の経営状況についてでございますが、鳩山荘の経営状況につきましては、昭和55年改築以来企業債償還金により生じた累積赤字が1億2,287万7,000円、他会計等借入金が1億2,280万円、県からの借入金1,509万9,000円など、多額な累積赤字や償還金を抱えるなど厳しい状況でございます。したがって、これらの累積赤字や借入金の償還のため、県内の他の施設と同様料金改正をすることによりまして財政運営の健全化を図り、より充実したサービスを確保してまいりたいと考えております。

次に、県内の状況でございますが、既に7月1日から料金改正をいたしましたのが飯岡荘、のさか望洋荘の2施設、10月1日から改正予定で現在作業中のところが犬吠ホテル、一宮荘、白子荘、望洋荘、鳩山荘の5施設、改装等の計画があり、検討中のところが大原荘、湖畔荘の2施設、その他県営の施設といたしまして、九十九里センター、鹿野山センター、清和につきましては平成3年4月の予定と伺っております。改正率はいずれも千葉県国民宿舎連絡協議会で申し合わせました106.26％でございます。

答弁終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 神田守隆君。

◎11番（神田守隆君） 今回の値上げということでありますけれども、鳩山荘の単年度収支という点から見れば経営状況は非常に好調だ。しかし、これまでの累積の赤字乃至償還金、こういうところから見れば、経営の内容からいっても料金の値上げが求められているんだ、こういうような御説明だったかと思うんですが、私はこの鳩山荘の料金の問題——確かに館山市民の暮らしの面から見まして直接影響を与えるという性格のものではないということもありますから、周辺の民宿料金ですとか、そういうものとの兼ね合いも

配慮しながら、営業を圧迫しないということも必要だろうし、そういう点をやはり考えなきゃならないなと思うんですが、この鳩山荘については市民の一般の利用、これを促していくということを通して経営的にも改善をしようということで、お年寄りに使ってもらおうというようなことでこれまでやってこられたということもあるわけですが、こういう点で、市民の利用という形でこの鳩山荘が還元されていくということも大変重要なことなんじゃないかなと思うんですが、この辺については現在どのようなになっているのか。決算の数字等によりますと、最近会議の利用が大変減少しているというような決算の数字も示されておりますけれども、そういう点でこの鳩山荘の運用についてどういうふうに基本的に考えられておるのかお聞かせをいただきたいなと思うんです。

◎議長（渡辺昭夫君） 経済部長。

◎経済部長（安西良一君） 市内の利用の関係でございますが、平成元年度では宿泊関係で 299名ございました。それから、このうちに老人の方々の御利用が 203名、身障者の方が20名ということで、その他一般の方でございます。宿泊関係は以上でございますが、そのほか神田議員さんのおっしゃいますように会議とか、それから地域の人たちのレクリエーションの関係でできるだけ御利用いただくように皆様方をお願いをしているところでございます。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 神田守隆君。

◎11番（神田守隆君） 鳩山荘の利用について、会議等の利用が最近減っているということで、決算の数字で見ますとちょっと心配をしているわけなんです。引き続きこういう市民の利用について、お年寄りの利用については――実際市内の利用ではほとんどがお年寄りあるいは身障者という形になるかと思うんですが、一定の料金の割引制度とか、こういうものが功を奏しているんだろうと思いますので、そういうことを含めまして、市民がもっと利用しやすい形態なんなりを積極的に促していくことが結果的に経営効率の改善ということにもつながるんじゃないかなということで、ぜひそういうことを含めまして御検討いただきたいなと思うんです。

以上です。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で11番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となっております議案第37号は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第2、議案第38号平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

質疑応答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案の第38号一般会計補正予算（第1号）についてお尋ねをいたします。私の質問は補正予算の主要事業説明書により進めさせていただきたいと思います。

まず、この7ページであります。国際交流事業ということで249万4,000円が計上されております。姉妹都市であるベリンハム市との交流活動を中心とする国際交流事業を推進するというふうなうたっておるわけですが、この具体的な内容、どのような国際交流事業なのか具体的に御説明をいただきたいと思います。

次に、同じく7ページであります。国民文化祭ちば'91世界民族舞踊フェスティバル事業として60万5,000円計上されております。第6回国民文化祭ちば事業の1つとして、世界民族舞踊フェスティバルの開催に備えるとし

ておるわけでありますが、この国民文化祭ちばとはどのようなものなのか、また世界民族舞踊フェスティバルはどのようなものなのか、それぞれ御説明をいただきたいと思うのであります。

次に、その下であります、コミュニティセンター周辺利用計画策定業務委託事業ということで750万円が計上されておりますが、説明では主要地方道館山―白浜線バイパスの建設に伴うコミュニティセンター周辺の利用計画を策定するとしておりますが、この説明の内容では具体的なことはわかりません。もう少し具体的な御説明をいただきたいと思います。

次に、9ページであります、商工費です。インダストリアルパーク基本計画策定事業820万円についてであります、説明書によりますと新たな企業立地のための基盤整備の基本計画を策定するとしております。いわゆる工業団地で、造成してもなかなか売れないために、その費用負担で自治体財政が圧迫され、困っているという事例はたくさんあります。文教民生委員会で視察しました徳島県の阿南市では、新産業都市として臨海部の開発を行いました、それらが売れずに結局その負債が市の財政を圧迫しておりました。この事業は大変に難しい要素があります。本当に地域振興になるような企業がやってくるのかどうか、その可能性はどのくらいあるのかなど慎重な検討が必要であります。市の構想としてはどの程度のものを考えられているのか御説明をお願いしたいと思うのであります。まず、計画面積はどの程度となるのか、誘致すべき業種についてはどのように考えておるのか、またこの結果地域経済にどの程度の波及効果が考えられると思っているのか、特に雇用の数をどのくらいと想定をしておるのか、あるいは期待をしておるのか御説明をいただきたいと思います。

次に、リゾート文化醸成調査事業負担金120万円についてであります、リゾート地としての新たな文化を創造するための調査に対する負担金ということでもありますけれども、リゾート地としての新たな文化といっても、もともと事業として成功するために行う調査とすれば、それぞれの事業者が負担して行うべきものであります。この調査はだれが実施する調査なのでしょう。そもそもリゾート地としての新たな文化を創造というこの事業は公的な

資金を投入する必要があるものなのでしょうか。そこで、この負担金の内容について御説明をいただきたいと思うのであります。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（渡辺昭夫君） 半澤市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 神田議員の御質問にお答えをいたします。

まず、国際交流事業についてでございますが、近年我が国の国際社会における地位が飛躍的に向上し、国際社会の一員として世界の均衡ある発展に寄与していくことが求められております。また、従来の政治経済中心の外交に加えてすそ野の広い交流を進めていくことが大切となっており、地方の果たす役割がますます重要になっております。

館山市は、昭和33年にアメリカ合衆国ワシントン州ベリンハム市と姉妹都市提携を結んで以来、ライオンズクラブの学生交換やベリンハム市で開催されるスポーツイベント等への参加など、市民間での交流を中心にさまざまな交流活動が行われておりますが、今後も多方面からの国際交流施策を推進し、国際化に対応できるまちづくりを積極的に推進したいと考えております。

今回補正をお願いいたします主なものは、国際化に対応できる職員育成のため実施するベリンハム市との職員交換事業にかかわる職員の受け入れのための滞在費や幕張メッセ等の視察費などでございますが、これはベリンハム市と職員2名ずつを約1カ月交換し、それぞれの市役所での勤務を通じてお互いの行政システムや生活文化を学ぶことにより、今後の行政施策への反映、交流活動の活発化を図ろうとするものでございます。その他、国際交流についての指導助言を得ることにより、今後の交流事業を円滑に推進するために設置した国際交流担当参与の報酬及び海外からの訪問者等に対応するための英文リビングガイドの増刷に要する費用等でございます。

次に、国民文化祭についての御質問でございますが、国民体育大会の文化版と言われている文化庁所管の国民文化祭は、文化活動の発表の場や新しい芸術文化の創造、地方文化の発展を主な趣旨として昭和61年度に第1回が東京都で開催され、来年第6回は千葉県で開催されます。期間は平成3年11月

16日から10日間で、千葉市の幕張メッセを中心に、17市町村を会場に33の事業が行われる予定でございます。そのうち、館山市を会場に行われる世界民族舞踊フェスティバルは、国際文化交流を目的として国の内外から参加者を募集し、国際色豊かな楽しい民族舞踊に展示コーナー等を加えたフェスティバルを開催することになっております。千葉県におきましては、昨年度から国民文化祭準備室を設けてこの開催に備えているところでございまして、館山市においても来年度の開催に備え、本年度の開催地である愛媛県への視察旅費について補正予算をお願いしようとするものでございます。

次に、コミュニティセンター周辺利用計画策定業務委託についての御質問でございますが、主要地方道館山－白浜線バイパスの建設に伴い、道路幅員等が一部変更された詳細設計が館山土木事務所から示されたところでございます。このため、今後の実施設計に向けてコミュニティセンターへのアクセス方法について千葉県及び千葉県警察本部と早急に協議する必要から、動線計画等景観にも配慮した一体性のある敷地全体の利用計画を策定しようとするものでございます。

次に、インダストリアルパーク基本計画策定業務についての御質問でございますが、規模につきましては、地形等を勘案いたしましておおむね50ヘクタールを目安に検討しており、今後基本計画を策定していく中で明らかにしてまいりたいと考えております。また、雇用につきましては、雇用の増大につながる企業誘致に努め、少なくとも2,000人以上が望めるよう努力してまいりたいと考えております。

次に、リゾート文化醸成調査事業負担金についてでございますが、この事業は県の指導と補助を得て実施するものでございまして、実施主体は南房フラワーパークリゾート推進連絡協議会及び館山サンシャインリゾート連絡協議会でございます。事業費といたしまして、各協議会ごとに200万円を予定し、両協議会が合同で調査に当たりたいと考えております。事業概要といたしまして、リゾートは総合的なまちづくりであるという観点から、リゾート地域の文化資源を掘り起こし、資源の活用方策等の検討を進め、新たな南房総らしい地域文化を創造して当地域のイメージアップを図ろうとするもので

ございます。

以上、答弁を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 神田守隆君。

◎11番（神田守隆君） インダストリアルパークの関係でありますけれども、端的に言いましてこういう工業団地の造成というのは非常に難しい問題があって、歴史的に見ましても新産業都市の失敗の例があったり、あるいはその後も先端技術を中心とした団地造成等でもうまくいっているという話は余り聞かないものですから、いつでもこういうものでうまくいけばいいと——2,000人からの雇用というのはこの館山市にとっては大変大きなやはり影響力というのを持っていると思うんですが、果たしてそれがうまくいくかどうかという心配が常にあるわけなんで、そういう点でこれが財政的な規模といえますか、どの程度の財政の規模でこの開発が行われるのか。それが下手をすると館山市のお荷物になりかねないということも考えなきゃならないわけで、そういう場合の危険というか、危険負担といえますか、そういったものについてはどのようにお考えになっているのかお聞かせをいただきたいなと思うんです。

それから、リゾート文化醸成調査事業負担金の問題で、大体おおむね御説明の内容はわかったわけですが、やはりリゾートは地域の文化づくりだ、これがなければリゾートはうまくいかないという点で、地域の文化の発掘ということで事業を行うんだ。これは大変大事なことだと思うんですが、常々この館山市の文化の問題で議論もされて、テーマとして残ってきて、積み残しで残ってきた問題が文化ホールの建設の問題だったと思うんですが、それでこういうことですからお聞かせいただきたいんですけども、この文化ホールの問題についてはリゾートの中でも大変重要なテーマだということで議論もされてきて、平成3年から始まる千葉県の5カ年計画の中でこの館山市に文化ホールの設置を促していくんだというようなことをこれまで答弁なさってこられたかと思うんですが、この辺についてはどのように現在推移しておるのかお聞かせをいただきたいなと思います。

◎議長（渡辺昭夫君） 半澤市長。

◎市長（半澤良一君） 文化ホールにつきましては長い間の懸案でございますが、今度の新5カ年計画の中で南部へつくることが予定されております。具体的にどこという地名の指定が、都市の指定がないわけでございますが、南部ということだけは決まっておりますので、今後とも県に働きかけまして館山市へ設置するように運動していかなければいけないと考えております。

◎議長（渡辺昭夫君） 経済部長。

◎経済部長（安西良一君） インダストリアルパークの関係でございますが、まず第1点の財政規模といいたしましょうか、それにつきましてはどうかという御意見でございましたが、これは実は事業主体が県の方にお願いをするということになっておりますので、その辺につきましては市の方は心配ないんじゃないか。

それから、危険負担の関係はどうかということでございましたが、これにつきましても、市は直接お金を出すわけでございまして、市があくまでも事業主体になりまして、それで市の方はいわゆる用地買収に御協力申し上げる、こういうような形になろうかと思っております。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で11番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となっております議案第38号は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） なお、この際申し上げます。

9月6日議会運営協議会開催までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり所管の常任委員会に送付いたしましたので、御報告いたし

ます。

延 会 午前10時29分

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

次会は明9月18日午前10時開会とし、その議事は平成元年度各会計決算の審議といたします。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第37号及び議案第38号